

長野県木曾青峰高等学校 令和2年度第2回学校評議員会 記録

日時 令和3年2月24日（水）午後3時00分から午後4時30分

場所 木曾青峰高等学校同窓会館

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓副会長・PTA会長・木曾養護学校長
木曾障がい者総合支援センターとともに就労支援ワーカー・木曾町区長会長
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任
進路指導主事・生徒指導主事・1学年主任・2学年主任・3学年主任
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) モノレールはどこから譲渡されているのか。

■阿智村よりいただいている。7年前から回収を始め敷設している。演習林が急峻なので有効に使えると考えている。最終的には福島城址（本丸）までの敷設を目指している。現在稜線まであり、あと数年かかると考えている。

(評議員) 中学生の体験入学の通知範囲は、どのようになっているか。

■郡内の中学と、いままで参加実績ある中学には発信している。全県の体験入学の一覧にも掲載されている。今年度は兵庫県からの参加があった。今年度は日程を変更した影響か、郡外の中学生の参加は少なかった。

(評議員) インターネットの全てが悪いわけではなく、良し悪しの見極めが難しい部分があるが、インターネットでの指導事案について伺いたい。

■インターネットを介して人と知り合うことも悪いわけではないが、今回は生徒に有害なことがあったため指導した。

(評議員) 理数科の受賞履歴については地域に発信されているのか。生徒たちの励みになるし、学習を見せることもアピールになるのではないか。また親としても知りたい。

■発信はあまりされていない。検討したい。また、課題研究はCATVでの放映を実施した。

(評議員) ケーブルテレビで放映されているのは非常に良い。スクールマガジンも回覧されているが、見やすいものをお願いしたい。

(評議員) 広報活動は積極的に実施していただきたい。生徒のモチベーションの向上にもつながると思う。地域広報誌の木曾町（地域協議会）に定期的に掲載し、広く情報発信するというのもよいのではないか。期待している。

(評議員) SNSについては、利便性がある反面リスクにさいなまれる側面がある。利用にあたってはアクセルとブレーキを加減する教育の大切さを痛感する。保護者の方と関係がうまくいっていない子どもについてはSNSが頼りという子どももいる。その点も考えて私たちは指導する必要がある。

■SSTも含め今後も協力をおねがいしたい。

(評議員) SNSに関する事案も含め、自己肯定感の低い子どもには小さなことも褒めて自信をつけさせてあげることが大切であると考えているが、そのような子どもへの働きかけをどのようにしているか。

■教科指導や部活動の指導の中で、指導を進めていく必要がある。そこにSSTなども含め計画していく必要があるのではないかと考えている。

- (評議員) 高校生として木曾青峰高校に入学したとたんに、休校となったのが今年の一年であった。大人は生活の基盤がある程度確立しているが、高校生はそうではない。子どもたちの抱える将来への不安等に親身になって対応することが大切ではないか。
- (評議員) できない行事もあったとは思いますが、実施可能な範囲での臨機応変な対応をお願いしたい。
- (評議員) インテリア科の木曾町の防災については、どのような取り組みをしたのか。
■デザインコースが取り組んだ。マスクのイラストなど、地域からも使用したい旨の要望があった。
- (評議員) 学校の情報をぜひ発信していただきたい。青峰の魅力、発信できることはたくさんあると思うので是非工夫してみてください。
■SNSについては、高校以前の段階（小・中学校）での指導も大切であるのでご協力をお願いしたい。
■木曾町図書館での発表の場があるので、そういったものも活用していきたい。
■作品展示もしていきたいので施設等の紹介をお願いしたい。
- (評議員) 木曾町役場が新築となり展示スペースもある。興禅寺でも様々な展示をしている。そういったアプローチもあるのではないか。

5 その他

6 閉会